



ジオデシックドーム 組立て説明書

お届け内容

- ジオデシックドーム骨組み
- 天幕 (天幕のレンタルを希望した場合のみ)
- ボルト & ナット
- 首からさげる組立て表
- ジオデシックドーム 組立て説明書 (本書)

各自で用意するもの

- インパクトドライバー
- 六角ヘックスビット 17 ロング
- スパナ 17 (空回りした時にいります)
- 脚立 (4Vの場合8尺×2セット)
- 軍手 (滑り止めがついているものが作業しやすいです)
- ペグまたはウェイト、固定するロープ
- ペグを打込む石頭ハンマー

注意事項

※骨組みが曲がってしまうため、ジオデシックドームには登らないで下さい。
イベント等でお客様が知らずに登ってしまわないよう案内表示などで注意喚起をして下さい。

※ジオデシックドーム組立てには、平らな地面が必要です。
予め施工が出来るスペースを確保しましょう。

※ペグを打ってドームを固定しますので地面に穴があきます。
ご了承ください。
ペグが打てない場所ではウェイトでしっかり固定してください。
ウェイトをパイプの中央へ乗せるとパイプが曲がってしまう原因となりますのでおやめください。

※天幕をご利用の際は強風に十分ご注意ください。
天幕を付けることで風の抵抗を受けやすくなります。
最悪、ドーム自体が転倒する場合もございますので、風が強い場合は反対側の天幕をめくる・天幕自体を外すなどして風抜けを作るよう対応してください。

※レンタル中の事故・怪我・破損等につきましては、当社では一切の責任を負いません。

※落書きや盗難、破損・骨組みの曲がりには実費請求しますのでご注意ください。



1 平らな地面に骨組みを並べます

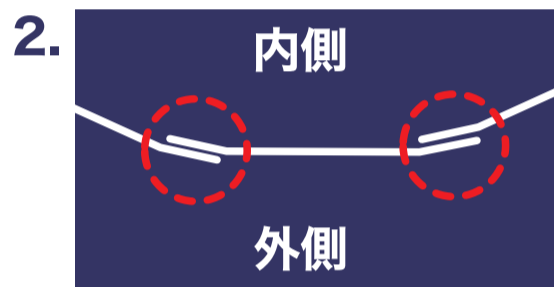
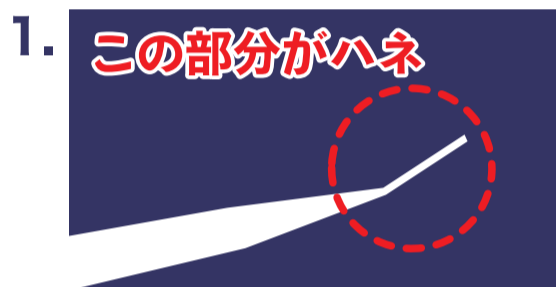
きれいな円になるように平らな地面に骨組みを並べてください。

2V の場合は
塗装なしの長い骨を地面に並べます。



Point!

1. 骨組みの両端には少し角度 (ハネ) が付いています。
2. 骨組みを並べる際はこのハネが円の内側に入るように重ねて並べてください。
(向きを間違えるとドームは組立ちません)



P.02

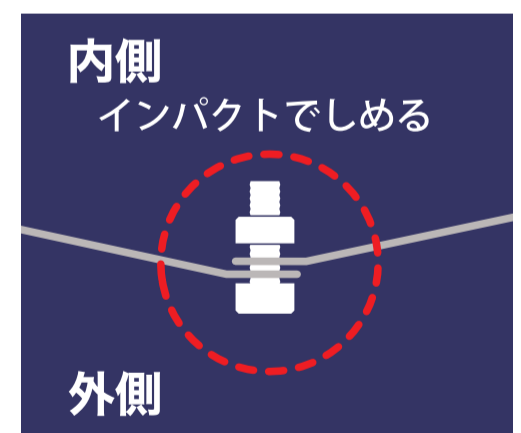


2 骨組みをつなげます

円状に並べた骨組みをボルトを使ってつなげていきます。
この後の行程でまだつなげる骨組みがあるので、ナットは締めずにボルトだけ差し込み仮止めしておきましょう。

Point!

ボルトは必ず外側から内側へ向かって差し込みます。
ナットは内側からインパクトドライバで締めます。
固定する程度にしてください。
打込すぎるとバラしの時にとれなくなります。

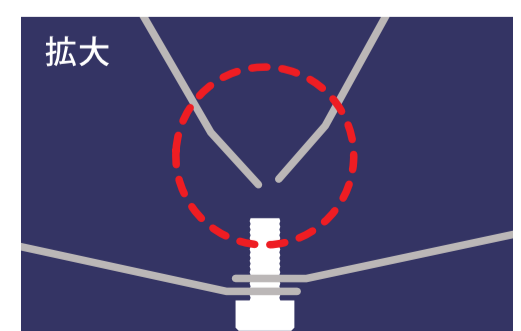


3 1 段目を作っていきます

ナットを締める前に組立て表の色を見ながら並べておきます。
色については次のページで説明します。

Point!

図のように、並べた骨組みのつなげた部分に頂点がくるようにV字にして置くとその後の作業がしやすくなります。



次の行程から少し難しくなります。
説明書をよく読んで間違えないようにしましょう。
間違えると後から直す作業がとても大変です!

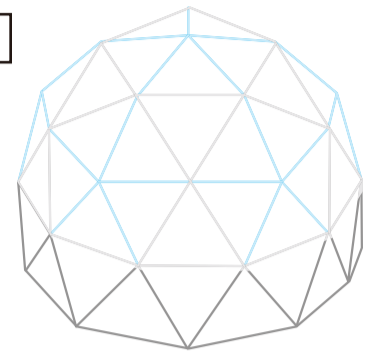
P.03



4 色分けをしながら並べます

行程3で説明したように並べて置いていくのですが、色の順番が決まっています。

2V



2Vの場合は塗装なしの長い骨のみを使用します。

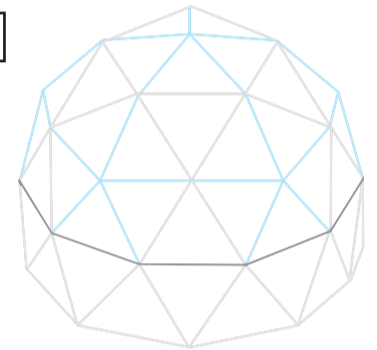
そのままインパクトドライバーでVにした部分を締めていってください。



5 2段目を作っていきます

隣り合ったV字の端をかさねると三角形△になりますのでその状態で仮止めします。その三角形の頂点を隣の三角の頂点とつなぐように骨組みを真横にして仮止めしてあるボルトに重ねて行きます。

2V



2Vの場合は塗装なしの長い骨のみを使用します。



P.04



5 3段目以降は同じ組立て方で作業を進めていきます。

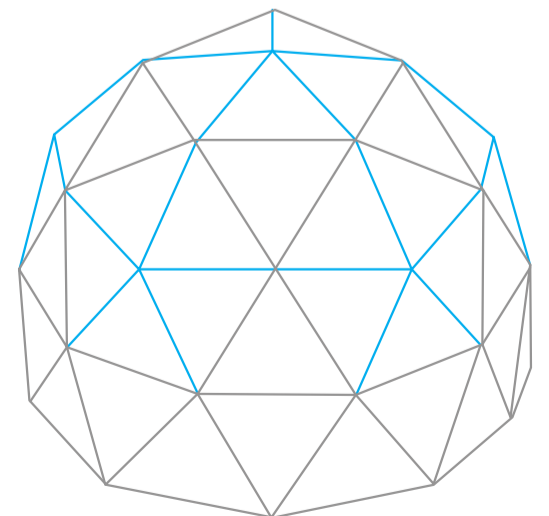
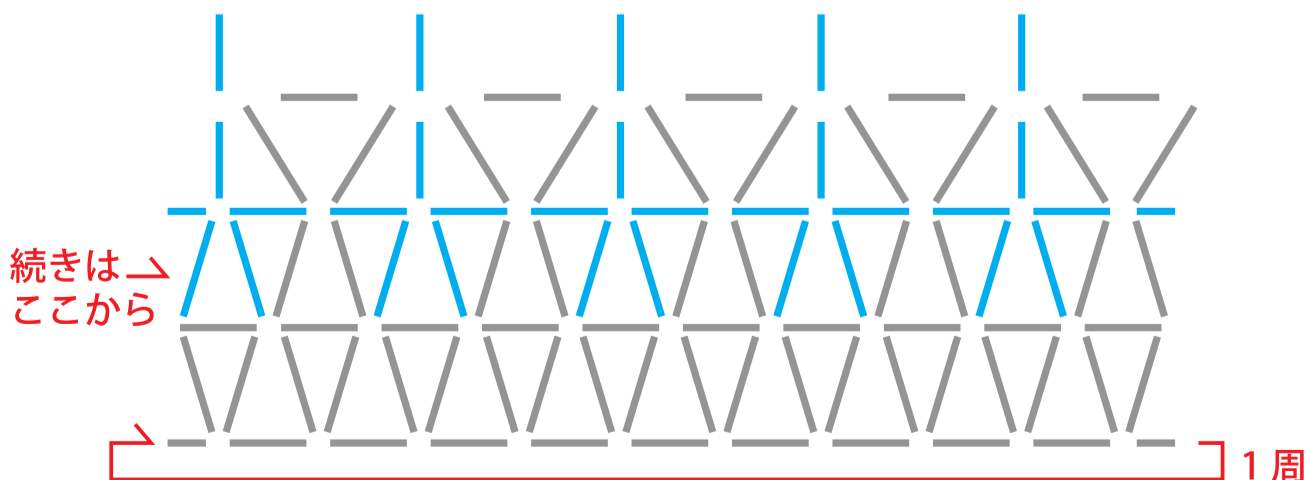
ナットを締め忘れたり、仮止めを怠ると、骨組みが落下したり、傾いて倒れ、事故や怪我が起きる可能性があります。

必ず仮止めをしながら作業を進めていくことをおすすめします。

完成に近づくにつれて高くなっていくので、早い段階で円の中心に脚立を入れてください。

2V 組立て平面図

分かりやすくするために白い塗装がある骨組みを水色にしています。

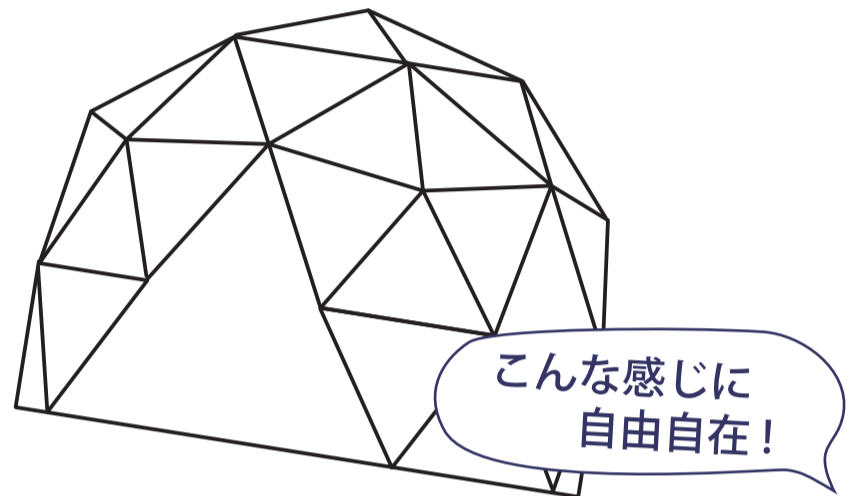
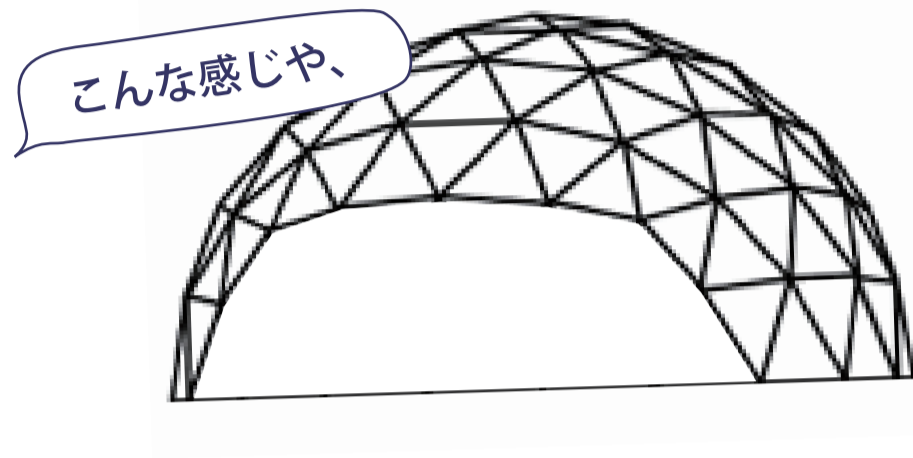


P.05



6 入り口を開ける場合

入り口を開ける場合はドームが全て完成してから開けたい部分の骨組みを抜きます。
バラバラしないように、ボルトと抜かない骨組みを固定しながら抜きたい骨だけを抜くようにしましょう。
入り口の形に決まりはありませんが大きく開けすぎると崩れてしまう原因になります。



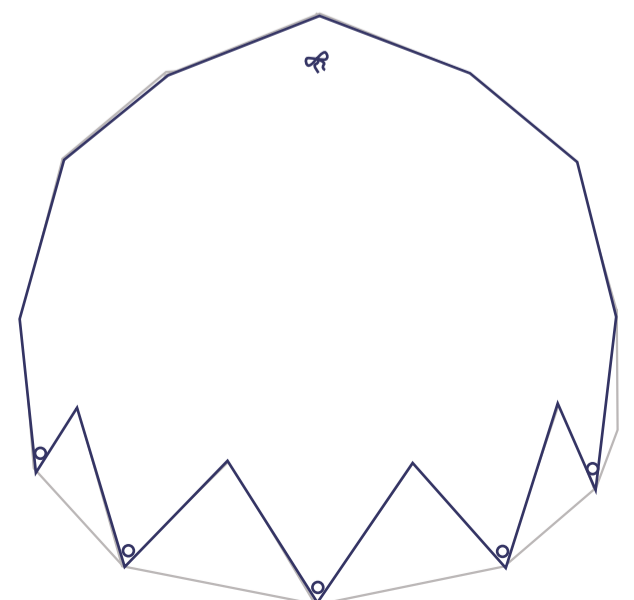
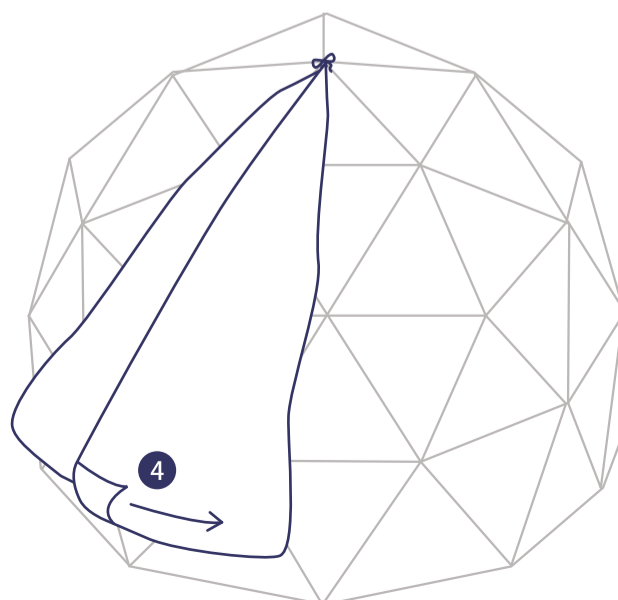
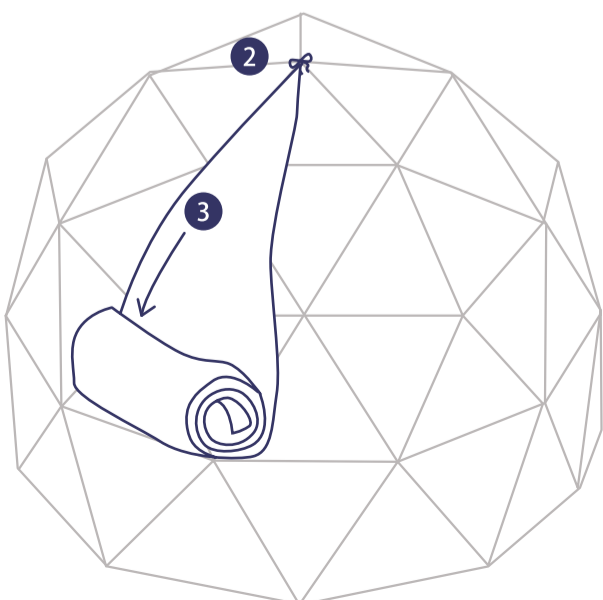
P.06



7 天幕のかぶせ方

2V

- 1 天幕をたたんだままの状態、脚立に乗りドームのてっぺんまで持ち上げます。
- 2 天幕の内側の中心にはひもが付いていますので、そのひもをドームのてっぺんの中心にくくります。
- 3 たたんである天幕をくるくると真下に開いていってください。
- 4 骨組みと同じように布地が縫製してあります。縫製と骨組みが合うように回転して合わせてください。
- 5 合わせたら、布地の下に付いているハトメをボルト部分に引っ掛けてください。
ナットをすれば、風でとれてしまいません。



P.07